

介護テクノロジー導入の取組み 伴走支援モデル事業所成果報告会

伴走支援モデル事業所8事業所のリアルな挑戦を一挙公開！

介護テクノロジーの導入・活用は、「入ればうまくいく」ものではありません。

「何を大切にして取り組んだのか」「どんな壁にぶつかったのか」「それをどう乗り越えてきたのか」今回のセミナーでは、現場のリーダー自らの言葉で、そのリアルなプロセスをわかりやすく発表します。

成功だけでなく、悩みや試行錯誤も含めて共有します。

「これから導入を考えている」「導入したけれど、うまく活かせていない」
そんな事業所にこそ、聞いてほしい内容です。

午前

見守り機器編

3/18(水)

10:00~12:00

見守り機器を導入した4事業所が発表します。

- ・介護老人保健施設 ふじ苑（ライフリズムナビ）
- ・都留市立介護老人保健施設 つる（見守りCUBE）
- ・特別養護老人ホーム 奥湯村園（眠りスキャン）
- ・看護小規模多機能型居宅介護 かのん（ペイシェントウォッチャープラス）

午後

介護業務支援機器編

3/18(水)

13:30~15:30

インカム等介護業務支援機器を導入した4事業所が発表します。

- ・リハビリ特化型デイサービス カラダラボ南アルプス (buddycom)
- ・地域密着型介護福祉施設 カインドネスケア (ケアデータコネクト)
- ・介護老人保健施設 あさひホーム (BONX)
- ・介護老人保健施設 甲州ケアホーム (クリアトークカム)

※午前・午後どちらかのみの参加も可

※両日とも事業所の発表順は記載と異なる場合があります

開催形式 オンライン (Zoom)

主なプログラム

講演

「生産性向上の考え方と効果的なテクノロジーの活用について」

成果報告

トークセッション

成果報告では語りきれなかった部分の深堀りや、今後の展望についての意見交換

対象

山梨県内の介護事業所の経営者・リーダー・関心のある方

申込締切 3月11日（水）まで

申込URL <https://forms.gle/Lr34KT6Ay1gCvjNQ7>

講師・モレーテー

鎌田 大啓

(かまた ともひろ)

株式会社TRAPE 代表取締役



厚生労働省「生産性向上ガイドライン」の作成・改訂に深く関わり、介護現場における生産性と働きがいの向上（介護助手・介護テクノロジーの導入など）に取り組んできた。

厚生労働省主催の全国セミナー講師を務め、全国のワンストップ窓口や介護事業所への伴走支援など豊富な実績を有する。現在は厚生労働省の各種委員も務めている。

モデル事業所伴走支援を
私たちが担当しました！



問い合わせ：

山梨県社会福祉協議会 介護福祉総合支援センター（介護支援センター） TEL：055-254-8680